

先輩インタビュー



Interview

博士前期課程 由井菌研究室 鎌田 光太郎 さん

好奇心と高揚感を喚起する、 独自の異分野融合領域

大学は経済系に通い、意思決定論に関して研究しました。一方、理論だけでなく、成果がもっと現実社会に反映されるようなより応用的研究をやりたいと考えるようになり、文系理系を問わず、門戸が広いJAISTへの進学を決意。現在は、由井菌研究室で人間のコミュニケーションを支援するコンピューターシステムの開発をめざし、学部時代の学びを生かしながら、VR会議とグループディスカッションに関する研究に取り組んでいます。

入学前、文系の自分が大学院の授業についていけるのかという懸念はありましたが、本学では博士後期課程で必要な知識を習得できるよう、基礎から専門までしっかりとした指導を受けられます。

由井菌研究室は、本学が金沢大学とともに設ける融合科学共同専攻に所属しています。この専攻のメリットは、両大学の単位が取れること、本学にはないような文系や医療系の分野を学べること。私は、金沢大学では心理学・認知科学が専門の先生から副指導を受けており、また、臨床認知心理学の研究に関わったりして異分野研究を楽しんでいます。おそらく、ふたつの大学を行き来して学べるというシステムは、全国でも珍しいのでは、と思います。

由井菌研究室は、東京サテライトを除くと私以外は留学生。先生は学生同士のコミュニケーションを大切にされ、特にディスカッションを重視されている方。研究室のメンバーとは休日、金沢に観光や映画に、また、県外のライブなどに出かけています。

研究の醍醐味は、自分が興味を寄せる分野に熱中できること、だれもやっていない事を開拓する高揚感。目下、国際学会への発表に向けて頑張っているところです。将来は研究者として歩んでいければ、と考えています。